



平成24年度

豊島区  
環境年次報告書

平成25年9月 豊島区



## 区長メッセージ

豊かな環境を通じて区民誰もが幸せを実感できる地域社会の実現をめざし、豊島区環境基本条例が制定されてから5年。本年は、「豊島区環境基本計画」の見直しの時期にあたります。

この間に起きた東日本大震災と原発事故という未曾有の大災害は、私たちを取り巻く環境に、かつてない影響を与えました。私たちは、これらの経験を忘れることなく、真に持続可能な地域社会を築いていかなければなりません。日本一の高密都市である豊島区だからこそ、活力を維持しながら、環境負荷の低減に正面から取り組んでいく——。豊島区環境基本条例の原点に立ちかえり、環境都市としまの実現に向けて、決意を新たにしているところです。

豊島区には、駒込・染井が発祥の地である「ソメイヨシノ」があります。これを区の大切なブランドとして活用し、地域の方々とともに広く区内外に発信していくプロジェクトが始まります。接ぎ木から育てた苗木を学校などへ植樹し、これまで皆さんと取り組んできた「グリーンとしま」再生プロジェクトとともに、物語性のあるみどりや公園の繋がりにより、人と環境にやさしい四季を感じられるまちづくりを広げていきます。

池袋副都心における新庁舎整備や現庁舎周辺まちづくり、目白小学校の改築や西部複合施設など、環境に配慮した区有施設の整備を核として、今、大きくまちが変わろうとしています。この環境年次報告をご覧いただいた多くの皆様が、豊島区の環境政策に関心を持ってくださり、誰もが憩いを感じる環境都市づくりへ参画されますことを願いたします。

平成25年9月

豊島区長 高野之丈